

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

No. 606

麻生津こども園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 学びに視点をおいた日々の活動のドキュメンテーションを掲示し、保護者に伝えていく	(1) ◎	週1回のドキュメンテーションを配信し、園の活動を保護者に伝えるようにした。
		(2) 行事後のアンケートや園評価をもとに、教育・保育を見直し、次年度に活かす	(2) ◎	行事後にはアンケートを行い、結果を振り返ったり、保護者に知らせたりし、次年度へ生かせるようにした。
		(3) 保育カウンセラーの助言をもとに、個々への支援の仕方を学び実践する	(3) ◎	保育カウンセラーの助言を日々の保育で実行できるよう、絵カードや声掛けなどで活用した。
		(4) 安全の心得や危機管理マニュアルを熟読し、園児の健康支援、完全の確保に努める	(4) ◎	地震災害について今一度避難の方法について確認し、避難訓練で生かせるようにした。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 終礼時に子どもの姿や育ちについて話し合う時間を設け、職員間で共有する	(5) ○	園内研修としてドキュメンテーションを用いて話し合いを行ったが、毎日の終礼時には難しかった。
		(6) 運営管理、教育・保育、子育て支援に関する国及び県内外の動向情報の収集と、園長研修会の共通理解に努める	(6) ◎	
		(7) 研修計画を立て、職員一人一人が積極的に研修に参加し、保育力向上に努める	(7) ◎	動画視聴や園内研修を通して、こどもに合った支援の方法や声掛けなどを学ぶことができた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談や連絡ノートなどで、保護者の不安や悩みを受け止め、子育て支援を行う	(8) ◎	必要であれば個人懇談の機会をつくり、保護者の不安や悩みを受け止めるようにした。
		(9) 食事だよりや保健だよりの配布、感染症の情報提供を行い、健康管理を推進する	(9) ◎	配信だけでなく紙媒体で希望する保護者には、紙でおたよりを渡すようにした。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い、遊びの場を提供したり育児相談を受けたりする	(10) ○	感染症の流行があり、園開放ができない時期が多かった。
		(11) あそびにおいでのパフレットを作成したり、一時預かりを行ったりする	(11) ○	近所の未就園児がほとんどいないため、未入園の兄弟が時々利用した。
		(12) 保育の相談及び援助の知識及び技術向上のための研修に参加する	(12) ○	
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターでの健診や育児相談会の参加を促し、関係機関と情報を共有する	(13) ◎	保健センターへ情報提供をしたり、はるもにあ等と連絡を取り合ったりした。
		(14) 公民館、児童館の子育て広場などと連携し、地域の子育て家庭の支援をしていく	(14) ○	こども食堂の活動に賛同し、チラシを配布した。
		(15) 園小連携会議や授業参観、保育参観を通して、相互理解を深める	(15) ○	麻生津小学校と連携し、授業参観や保育参観を相互に行った。
		(16) 園だよりや玄関掲示物を通して、園の情報や園児の育ちを伝える	(16) ○	行事の際には玄関掲示を行い、園児の姿を伝えるようにした。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 子育て委員会への積極的な参加協力をする	(17) ○	
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育体験や保育実習を受け入れ、園児と触れ合う機会を設ける	(18) ◎	足羽中学校の生徒が保育体験をし、園児と触れ合ったり、生活を知ったりした。
		(19) 地域の行事を知らせ、保護者に参加を勧める	(19) ○	スポーツ少年団の集まりなど、チラシを配布したり、ポスターを掲示したりした。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 中高生のボランティアの受け入れを行う	(20) ◎	地域の中学校の職場体験事業を受け入れた。
		(21) 地域の文化に触れながら地域の人々との交流を大切にする	(21) △	地域の文化に触れる機会が少なかった。
V 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会の動向と求められる役割についての研修に参加する	(22) ○	
		(23) 研究大会や会議等での意見提示を行う	(23) ○	附属幼稚園の参観や公開保育を通して、他園の研究発表を聞くことができた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムに基づいた活動計画案作成と実施を行う	(24) ○	今年度の成果と課題を確認し、共通理解しながら次年度の計画に生かしていきたい。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。